かなめ流通グループ会員

みなさまの一番身近な相談相手となって経営は勿論、機械、店舗、営業のすべての面でお役に立つことをお約束致します。

かなめ流通G　東北復興支援ツアー

32名で福島の温泉に1泊

かなめ流通グループ（上田良堂代表＝㈱上田商店社長）では既報の通り、8月28～29日に「東北復興支援ツアー」として福島県を訪問。同グループの会員および賛助会員あわせ32名が参加した。福島は特に原発の問題があり観光客が減少している中、「我々が訪問することで少しでも地域の方々のお役に立てれば」と現地の温泉に1泊した。翌日は福島県を中心に多方面で営業展開する㈱同仁社（本社・福島市松浪町、齋藤信社長）の工場を見学。原発の影響により2工場を閉鎖、やむなくリストラを断行したなど〝現地の生の声〟を聞いた。

上田良堂代表

ツアーは、宿泊先となった福島市穴原温泉「月之瀬」に全員が集合し、会議室にて行った情報交換会からスタート。

まず、上田代表が「震災後、被災地に会で何かできることはないかと話していたところ、今回のツアーでもホスト役を買って出てくれたサンプラクトの本田社長から『地元の人は自粛やモノをもらうことより、多くの方に遊びに来てもらい、お金を落としてもらうことを望んでいる』と聞いた。それで旅行を兼ねて福島県に少しお金を落としに行こうと、この企画が成立した」と経緯を説明。

本田傳社長

そして、ホスト役を務めた地元福島県のかなめ会員機材商、㈱サンプラクトの本田傳社長（本社・郡山市図景）は、「いま一番福島県で困っているのが全国の自粛と放射線のセシウム。具体的には桃の値段が3分の1になり、検査中の米などはまず大丈夫であろうが、それでも『何ミリシーベルト』など発表されると、安全な数値でも一般の方は福島のものは買わないだろう。被災3県の中でも、福島の復興が一番遅れると思っているが、今回はぜひ旅行に来て、お金を落としてくださいと会にお願いしたところ快く了解してもらえた」と話した。

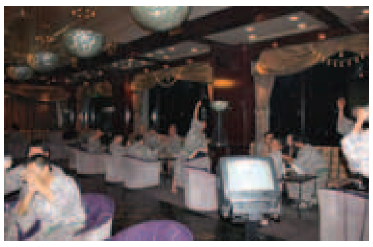
また、「福島だけでなく1人でも多くの方に東北に入ってもらい、お金を落としていただければありがたい。消費税を上げるという話も出ているが、消費税を上げなくても皆さんにどんどん儲けてもらってたくさん税金を払っていただいて、そうしたお金が政府の分配で東北に廻ってくれば、それが一番。原発はこのところ落ち着いているとは言え、冷温停止になるまでは予断は許さないが皆さんの応援をいただいて、ぜひ東北6県が復興できますようにお願いしたい。また、各メーカーさんには復興ツアーということで私から電話をさせてもらったが、多くの方に参加していただき、ありがとうございました」と御礼を述べた。

▲情報交換会の後は、温泉に入って大宴会場にて懇親会！

さらに、自らも被災したというメーカーも。住商アイナックス㈱・東北支店の吉岡直紀支店長は「私も3日間だけだが避難所で生活し、人間パン1個でも1日もつということが分かった」と実体験を披露。また、「事務所は海や仙台駅、多賀城にも近く、約１００ｍ手前まで津波が来た。車で10分ほど行ったところでは亡くなった方もおり、その車や家をどうしたらいいのか、という状態がまだ続いている」と現状について報告した。

◀有志でタクシーに乗り込み三次会に繰り出した

㈱ライト・仙台支店の神山和弘支店長も「3月11日は今までにない揺れを経験した。もう何もないかな、と思っていたら1か月後にとどめを刺すように震度5以上の余震がきた。水汲みは1週間毎日2～3時間ずっと並んだり、直後は仕事もせず水や食料調達に走った」と語る一方で、「だいぶ電気もついてきたし、復旧は速い」と述べた。


▶二次会は旅館内のクラブにて。全員が参加した

県民200万人以下に

2工場閉鎖、リストラも

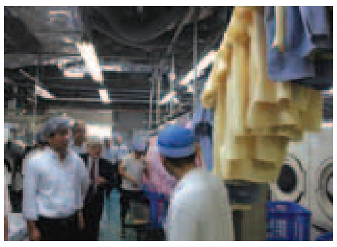
同仁社

今回見学したのは、伊達市にある同仁社のリネンおよびホームの工場。村上徹取締役生産部長兼工場長によると、震災被害が大きかったのは見学したリネン工場。すぐに停電・断水し、正面玄関の外壁が落ちてきたという。工場内では連洗３台のうち1台がずれ、ロールも11台のうち7台が動いた。「けが人が出なかったことと基幹部分であるボイラー、井戸水、排水処理等に影響がなかったことが幸いし、復旧は思ったより速かった」。

村上徹工場長

リネン工場から約５００m離れたところにあるリースキン工場でも排水系が壊れるという大きな被害があったほか、郡山工場（ユニフォームとホスピタルリネン）では事務所の天井が落ちた。

復旧はホームと郡山の工場が速く、ホテルリネン工場は形だけは復旧できたものの、重油が全く入ってこなかったことがネックとなり、稼動は２週間後に。ガソリンや薬剤不足にも苦しんだ。



震災以上に被害が甚大だったのが、東電・福島第一原発の水素爆発。同社には見学した伊達市のほかに楢葉工場（双葉郡楢葉町）と原町工場（南相馬市原町区）というホームの工場があるが、楢葉工場は原発から20キロ圏内で警戒区域となっているために閉鎖（５つの店舗も）、原町工場は30キロ圏内の計画避難区域となっており操業禁止ではないが、従業員もお客もいなくなってしまったために閉鎖（２つの店舗も）している。その影響で、従業員50人以上をやむなく解雇した。

また、「県外に住所を移した方が２万７０００人以上、転校した子供が８０００人以上と言われています。福島の県民は約２００万人でしたから、２００万人を切る県となってしまうのは間違いないところ」とした。

そして、村上工場長は「震災後、たくさんの方々からお見舞いやご支援、ご心配をいただき、心より御礼申し上げます。ここにきて何とか復旧はしてきていますが、復興はまだ先になると思います。昨日お泊りいただいた月之瀬さんなど福島の日本旅館にとってこれからは果物狩りや紅葉で大変いい季節なのですが、今年は苦戦を強いられるでしょう。また機会があれば、福島の旅館にお泊りください」と結んだ。

東北復興支援ツアー・参加者

【かなめ流通グループ会員】▽㈱上田商店＝代表取締役社長・上田良堂、▽㈱中部洗機＝代表取締役相談役・成瀬重夫／代表取締役社長・成瀬久勝／富士営業所所長・鈴木哲生、▽㈱アオイ＝代表取締役社長・船木春男、▽㈱光栄産業＝代表取締役・真霜守雄／専務取締役・水落政徳／営業担当・加藤博、▽㈱ヨーセン＝代表取締役社長・小野寺徹、▽㈲資宝堂＝代表取締役・古瀬稔、▽㈱サンプラクト＝代表取締役・本田傳／常務取締役・影山克美、▽浅野通商㈱＝代表取締役・川野恭一**【同賛助会員】**▽㈲品質情報研究所＝代表取締役所長・住連木まさし、▽㈱豊中ホット研究所＝東京営業所　営業担当・水野純一郎、▽マルソー産業㈱＝代表取締役社長・三浦政景、▽日華化学㈱ハウスホールドグループ＝東京支店グループリーダー・前田吉範、▽住商アイナックス㈱＝東北支店支店長・吉岡直紀、▽㈱東京洗染機械製作所＝仙台支店支店長・小幡寿晴、▽三ツ星貿易㈱＝東日本営業所課長代理・戸田研司、▽㈱ナカノ＝取締役副社長・中野哲、▽㈱ライト＝仙台支店支店長・神山和弘、▽㈱三幸社＝峯浦博、▽㈱オリタニ＝代表取締役・折谷征晴、▽東信精機㈱＝代表取締役・堀内利久、▽ゲンブ㈱＝東部販売部部長代行・奥田裕之／同グループリーダー・近藤秀人、▽㈱廣瀬商会＝産業機械本部洗機部課長・勝間道夫、▽㈱日本シーリング＝次長・藤井哲也、▽東静電気㈱＝仙台営業所所長・中茎貴章**【その他】**▽全国ドライ新聞社＝編集長・中澤孝治、▽かなめ流通グループ＝事務局長・笹嶋邦雄

（順不同、敬称略）